医療法人せいざん　青山病院　　令和元年5月号

新しく着任した医師のご紹介

4月より青山病院に赴任しました細川亮平と申します。当院では主に透析治療を担当させて頂きます。
過去に呉医療センターで勤務しており、この度は1年ぶりに呉で働くこととなり懐かしく感じております。
病気だけでなく今後の生活も考えた上で患者様の治療ができればいいと考えています。
新しい環境で慣れないことも多いですが今後ともよろしくお願い致します。

新しく着任した医師のご紹介

今年度より青山病院で腎臓内科医・透析医として勤務させていただくことになりました、森本啓介と申します。
2年間の初期研修を終えた後、広島大学病院腎臓内科へ入局し、腎臓内科医としては4年目となります。
当院では様々な全身疾患を持つご高齢の患者様も多いため、腎疾患や透析だけでなく患者様の全身管理に注意しながら日々の診療を精一杯行わせていただければと考えております。
まだまだ至らぬ点も多いとは思いますが、呉地区の医療に少しでも貢献できるよう尽力したいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

野茨と鳩

北原白秋の詩集『水墨集』のなかに『野茨に鳩』という詩があります。私がこの詩を知ったのは某フォークグループがこの詩に曲を付けた「野茨と鳩」という歌（YouTube検索で聞けます）を聞いたのがきっかけでした。
20代の頃ですから「春なのになんとまぁ陰なことよ～」と辟易したものです。
しかし時は流れ、中年から老年に差し掛かろうという此の頃になると、なんとなく詩の内容が妙にしっくりくるようになるから不思議なものです。
一番好きな部分は、「心からようも笑えず　さればとて　泣くにも泣けずよ」・・・でしょうか（喧嘩～・・）

「野茨と鳩」（野茨に鳩はもう少し長いデス）

春はふけ　春はほうけて
古ぼけた　草家の屋根でよ
日がな啼く　白い野鳩が
啼いても　けふは逝（い）ってしまふ
庭も荒れ　荒るるばかしか
人も来ぬ　葎（むぐら）が蔭によ
茨が咲く　白い野茨が
咲いても　知られず散ってしまふ
おお　ほろろん
ほろほろ　おお　ほろろん
空は空　いつも蒼いが
わしゃ元の　嬰児（ねんね）じゃなしよ
世は夢だ　野茨の夢だ
夢なら　醒めたら消えてしまふ
心から　ようも笑えず
さればとて　泣くにも泣けずよ
煙草でも　それじゃふかそか
煙草も　煙になってしまふ
おお　ほろろん
ほろほろ　おお　ほろろん
春だ春だ　それでも春だ
白い野鳩が　啼いてほうけてよ
白い茨が　咲いては散ってよ
こうして　けふも暮れてしまふ
日は暮れた　昔は遠い
世も末だ　傾きかけた
わしゃ寂（さ）びるいのちは腐る
腐れていつかは死んでしまふ
おお　ほろ　ほろろん
ほろほろ　おお　ほろろん

診療案内

月曜日～金曜日　午前：９時～１２時　午後：４時～６時
土曜日　午前：９時～１２時　午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始（12月31日～1月3日）・お盆（8月15日）

担当医

月曜日	午前：青山	午後：内科（交代制）	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：腎臓内科（細川・森本）		午後：神経内科（石橋）	
			土曜日	午前：内科（交代制）	

季節の風景　灰ヶ峰と鯉のぼり

「阿賀のカープファン」さんご提供